

右文尚武

NO. 6

土佐中高特活部通信

令和元年10月9日発行

土佐校生たちの主な活躍！！

【英語弁論】高円宮杯第71回全日本中学校英語弁論大会・県大会

- ◇弁論部門 県教育長賞 3A 西森水紀 **全国へ出場！**
読売賞 3C 戸梶未彩
◇暗誦部門 読売賞 3A 鈴木唯日 3C 遠藤音彩

【男子バレーボール部】高校支部大会

- 1回戦 vs高知工 2-0 2回戦 vs小津 2-0
準決勝 vs学芸 2-0 決勝 vs高知 0-2 **準優勝**

【ハンドボール部】中学ハンドボール選手権大会

- 男子** 決勝 16-37 朝倉 **準優勝** **女子** 決勝リーグ2勝 **優勝(7連覇)**



後期の中学・中央委員会、高校・生徒会が発足

9月30日に中学の後期中央委員会、10月2日に高校の後期生徒会の選挙が行われました。メンバーは以下の通りです。中学の中央委員会、高校の生徒会も、メンバー同士でしっかりと連携をとって、頑張ってください。

◇2019年度後期中学中央委員会

- 会長 3B 山本 希良莉 副会長 3A 豊永 知 3C 佐竹 秀太
中央委員 3A 山中 智己 3A 小松 瑠生 3A 田岡 寛大 3C 戸梶 未彩 3D 矢野 颯汰
3E 中川 凜太郎 2E 竹中 日菜 1A 伊藤 咲貴

◇2019年度後期高校生徒会

- 生徒会長 2H 中村 太昂 副会長 1H 小池 功太郎 2S 山田 望乃

中学・中央委員会・会長 山本 希良莉

昨年、副会長として学んだノウハウをいかして、必ず素晴らしい合唱コンクールにしてみせます！生徒皆さんが「主役」である合唱コンクールに、最高の花を添えられるよう、精一杯努力します。どうか応援・ご協力を宜しくお願いいたします！！

中学・副会長 豊永 知

僕は副会長どころか、生徒会も始めて経験する未熟な人間ですが、土佐中の副会長として、後期の一大イベント、合唱コンクールまでの練習の進行や、本番まで、全てがスムーズに進むように会長のサポートや、他の委員たちを引っ張っていったりできるよう尽力します。また、生徒たちが不便に思っていることから、こんなことをしてほしい！と思っていることまで、様々な生徒たちのニーズに応えていきたいと思います。そして、クラスにおいても、クラスのリーダーとして、皆を引っ張っていけるような存在になっていきたいと思います。

至らない点もたくさんあると思いますが、この土佐中学校をよりよい学校にするために全力で努めるので、これからよろしくをお願いします。

中学・副会長 佐竹 秀太

生徒会副会長として、今後の抱負や意気込みについて、皆に以下のことを伝えたい。

まず、私たちは学校を陰から「支える者」であるため、その意識をしっかりと持っていきたいと考えている。私は今回で4回目の副会長であり、常に学校や中央委員会を支えるという役割を担ってきた。支える者であるため、そのベースには生徒の意見がある。生徒が何を求めているのか、どのような学校であってほしいのか、その意見を取り入れてつつ支えていくつもりだ。また支える者であるため、その存在自体が支えられる存在であってはならない。自分が支える者、つまり中央委員であるという自覚を持ち、日常生活からそれにふさわしい行動ができるよう心がけていきたい。

次に、合唱コンクール及びその他学校における取り決めについては、しっかりと熟考し、意見を交換し合うことを大切にしていきたいと考えている。様々なことにおいてそれが本当に良いのかどうか、中央委員会で話し合い、より良いものをつくりあげていきたい。そのためには、中央委員会全員でそれについて考えていかないとけないだろう。今までの中央委員会でも、たびたび話にあがっていたことではあるが、報告・連絡・相談の「報連相」を意識し、必要な場合には全員が中央委員会に参加できることを心がけたい。また、先ほども言及したように、その時には生徒の意見をしっかりと取り入れるように努めたい。

最後に、以上のことを踏まえ、私は後期中央委員会の主な仕事である合唱コンクールが、最高かつ完璧なものに仕上がるよう努める。最高なものができるためには、ほんの細かいミスでも軽視してはいけない。細かいミスが、その後の大きなミスにつながることは多々あるのだ。何をするにおいても、できるだけ完璧なものになるよう、中央委員会皆で話し合い、チェックをしていくことが大切だ。

皆で話し合い、生徒の意見を取り入れつつ熟考し、生徒らを「支える」存在として、全員で最高の合唱コンクールをつくっていきたい。



高校・生徒会長 中村 太昂

皆さんこんにちは、この度生徒会長に就任させていただきました、2年Hホーム中村太昂です。今回、この場をお借りして、生徒会での抱負をお話させていただきます。

さて、生徒会が今回着手すべき重要な仕事として、芸術祭の成功、予算折衝の滞りなき進行は当然ながら挙げられますが、やはり目下我々が遂行すべき最も重要な任務は、土佐高校の100周年に向けた、“温故知新の改革”だと考えています。

来年、土佐高校は創立100周年を迎えます。それに向け、私たちがとるべき態度は、“古きをたずね、新しきを知ろうとする”態度だと思います。世界に誇る、土佐の先輩方が紡いできた歴史を守り、受け継ぐことも大切ですが、この変革の時代において、時代に合っていないような制度を容赦なく切り捨てることもまた、大切なこと

であるはずですが。

今までの100年の集大成として、また、次の100年に向けて、私たちがおこなうべき“温故知新の改革”を私たち生徒会は皆さんの先頭に立って皆さんと一緒に行っていきます。

何かと至らぬ点はあるかと思いますが、この土佐高校に改革の風を吹かせるべく一生懸命、頑張りますので、暖かく見守っていただければ幸いです。

半年という短い期間ではありますが、どうか宜しくお願い致します。

高校・副会長 山田 望乃

この度、後期生徒会副会長に就任いたしました。2年Sホーム、山田望乃です。生徒会長や生徒会をサポートするだけでなく、自ら意見し、行動に移せる副会長をモットーに生徒会活動に取り組んでいきますので、みなさんも協力よろしくをお願いします。

高校・副会長 小池 功太郎

みなさんこんにちは。

副会長に就任いたしました1年小池功太郎です。高校生徒会の副会長としての自覚を持ち、校則の厳守などをはじめとした自分への戒めを今まで以上に強化したいと思います。会長の手助けとなるだけでなく、自分からも動いていきたいです。

よろしくをお願いします。